

令和6年度
入学案内



21世紀を担う
歯科衛生士を目指して

鳥取県立歯科衛生専門学校



鳥取県立歯科衛生専門学校は、幅広い教養・専門科目の修得及び臨地・臨床実習の充実を図り、自ら創造する能力・思いやりと社会性を持った歯科医療の担い手としての歯科衛生士の育成を目指します。

学校長の挨拶



校長 谷尾 和彦

本校は1963年に鳥取県民の口腔衛生普及のため設立された歯科衛生士養成機関として、今日まで数多くの歯科衛生士を輩出してきました。60年近い歴史を持つ全国的にも数少ない県立の歯科衛生専門学校です。

歯科衛生士の役割・使命は人々の口腔機能をサポートすることです。

口腔は、食べる楽しみ・話す喜び・容貌の維持などの、人間本来の機能を持続するための根本的な生命の源をつかさどっています。そして近年の研究により口腔の細菌が全身の病気に多くの影響を与えることが明らかになってきています。これは口腔機能を維持することと口腔を清潔に保つことは、健康な体を支持し、健康な長寿を得ることと深い関わりを持つことを意味しています。このようなことから、口腔ケア等の口腔管理のプロフェッショナルである歯科衛生士の役割はさらに重要となり、近年の歯科衛生士に対する期待は飛躍的に大きくなっています。

歯科衛生士は国家資格の専門士であり、どのようなライフステージにおいても就業可能な職種で、歯科医院はもちろんのこと、行政機関・福祉施設・病院など多くの職場で活躍しています。特に近年は住民に対する摂食嚥下訓練等の口腔機能サポートや居宅口腔ケアの需要が多くなっています。

経験豊富な教員が、学生に寄り添った丁寧な指導教育をおこない、さらには患者さんの立場に立って医療を考えることの出来る歯科衛生士の育成を目指しています。



本校の沿革

- 昭和38年 「鳥取県立歯科衛生士学院」を鳥取県歯科福祉会館に設置
修業年限1年 入学定員20名
- 昭和47年 入学定員30名に変更
- 昭和57年 鳥取県歯科医師会館新築移転により、新会館内に移転
修業年限を2年に移行
入学定員36名に変更
- 昭和58年 校名を「鳥取県立歯科衛生専門学校」に改称
- 平成17年 修業年限を3年に移行

国家資格を有する歯科医療・保健分野の スペシャリストをめざして!!

歯科衛生士 とは

専門課程を習得後、国家試験に合格して厚生労働大臣免許を取得し、歯科医療の一翼を担う専門職です。
歯と口腔の健康を維持管理し、一人一人にあった口腔ケアをしながら、生涯を通じて全身の健康づくりに貢献します。

歯科衛生士の仕事内容

歯科予防処置

歯及び口腔の健康を守るために患者さんの歯垢、歯石を取り除いたり、薬物塗布や予防充填を行い、歯周疾患やむし歯を予防します。



歯科診療補助

歯科診療をスムーズに進めるための補助や歯科医師の指示での診療をトータル的に補助します。



歯科保健指導

歯科保健に必要な歯みがきや食生活指導を行い、口腔の健康をサポートします。



訪問歯科保健歯科診療

要介護者の歯科保健サービスや歯科医師とともに在宅での歯科診療を行います。



就職状況

歯科衛生士は、社会情勢に関係なく求められている安定した職業です。歯科衛生士の数はまだまだ不足しており、本校には県内外を問わず数多い求人の申込みがあります。

卒業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
卒業生	20名	21名	22名
県内就職者数	12名	19名	19名
県外就職者数	8名	2名	2名
就職率	100%	100%	100%

令和4年度は1名 就職希望無し



カリキュラム一覧

21世紀の日本社会は、これまでに経験したことのない高齢化を迎え、歯科医療に対するニーズも高度化・多様化してきています。社会のニーズに対応できる感性豊かな、心優しい歯科衛生士育成のために、幅広い科目で教育の充実を図ります。

基礎分野

- 人文科学・社会科学
- 自然科学
- 外国語

専門基礎分野

- 解剖学
- 生理学
- 病理学
- 微生物学
- 薬理学
- 口腔衛生学
- 衛生学・公衆衛生学
- 衛生行政・社会福祉

専門分野

- 歯科衛生士概論・歯科医療倫理学
- 歯科臨床概論
- 歯科補綴学
- 小児歯科学
- 有病者歯科学・障がい者歯科学・高齢者歯科学
- 歯科口腔放射線学
- 歯科予防処置
- 歯科保健指導
- 歯科保存学
- 口腔外科学
- 歯科矯正学
- 栄養指導学
- 歯科診療補助
- 臨地・臨床実習

選択必修分野

- 行動科学
- コンピュータ学
- 隣接医学
- 手話
- 体育



▲授業風景



▲授業風景



▲実習風景



授業・実習の様子



カリキュラムの特徴

有病者・障がい者・高齢者歯科学

有病者の歯科治療は、治療時、投薬、感染予防において多くの注意すべき事項があります。また近年高齢者や要介護者に対する優しい歯科医療サービスが求められています。

そのため、歯科衛生士における有病者、障がい者および高齢者に対する医学知識、患者への対応、注意点等について教育を行います。

行動科学

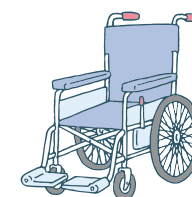
人間の行動を科学的に捉え、歯科医療における行動科学の意義を学び、保健医療におけるコミュニケーション、患者と医療従事者とのコミュニケーションとその実際などについて学びます。内容としては、患者中心の歯科医療を実践するための基本的態度、技術、知識を修得し、特にブラックコントロール指導や歯科治療を怖がられる患者へのアプローチ方法などを教育します。

手話

聴覚、言語機能に障がいや有する人の歯科診療の際、スムーズなコミュニケーションをとるためには、臨床現場で役に立つ手話教育が必要です。内容としては、聴覚・言語機能に障がいや有する人の協力を得、実際に実技・応用に重点を置いた効果的な手話教育を行います。

介護技術学

有病者、障がい者、高齢者など、様々な患者さんに対応できる様、介護技術学を学びます。



キャンパスライフ

同じ目標を持ち励ましあい支えあっていく中で、仲間がかけがえのない存在となっ
ていきます。
共に進もう、希望に満ちた明日へ向かって!!

在校生の言葉

4月

◆入学式
◆臨地・臨床実習開始(3年)



▲入学式

5月

6月

◆保育園・幼稚園実習(3年)



▲保育園・幼稚園実習

7月

◆夏期休暇
◆前期試験(2年)
◆課外授業



▲体験入学

8月

9月

◆研修旅行(1年)
◆前期試験(1年)



▲研修旅行

10月

11月

◆後期試験(2年)
◆宣誓式(2年)



12月

◆冬期休暇
◆臨地・臨床実習開始(2年)
◆臨地・臨床実習終了(3年)
◆総合試験(3年)



▲卒業式

1月

◆国家試験対策講義(3年)

2月

3月

◆春期休暇
◆臨地・臨床実習終了(2年)
◆後期試験(1年)
◆卒業式
◆歯科衛生士国家試験(3年)



▲国家試験受験



3年 森井 裕菜

私は大学を卒業後、3年間の社会人生活を経てこの学校に入学しました。

入学を決めた理由は、新型コロナウイルスの影響により、仕事量が減少し、不安な日々を過ごしていました。これをきっかけに資格を取りたいという気持ちが強くなり、以前から興味があった歯科衛生士の職を選択しました。

いざ、入学してみると同級生は高校卒業したての方ばかりで、自分と歳が離れているため馴染めるか不安になりました。しかし講義や実習を通してクラスの方々とも打ち解けることができ、今は国家試験合格という共通の目標に向かって充実した毎日を過ごしています。



3年 山口奈々花

高校生の頃、担任の先生に勧められて歯科衛生士という職業に興味を持ち、この学校に入学しました。

初めは、聞いたことない専門用語ばかりで、ついていけないかとても不安でした。

2年生の冬から始まる臨床実習では、礼儀から歯科の専門的なことまで、日々多くのことを学びます。知識や技術が身に付いていくのを実感した時の嬉しさや、勉強をして分かる事がどんどん増えていく楽しさは、他では得られないものがあります。辛くて大変な時は、友人同士で励まし合って頑張っています。

国家試験に合格し、立派な歯科衛生士として活躍できるように頑張ります。

令和6年度鳥取県立歯科衛生専門学校入学生募集要項

1 募集人員 36名

2 修業年限 3年

3 推薦入学 (18名程度)

(1) 推薦基準及び条件

- ①鳥取県内の高等学校に在学し、令和6年3月卒業見込み(同校の令和5年度中の卒業を含む。)であること。又は、広域通信制高等学校に在学し、かつ鳥取県内において学校教育法(昭和22年法律第26号)第55条に基づく指定技能教育施設である専修学校に在学し、令和6年3月卒業見込みであること。
- ②高等学校3か年の学業成績の平均が3.4以上であること。
- ③歯科衛生士になろうとする強い意志をもち、人物が優れており、学校長が責任をもって特に推薦できること。
- ④本校への就学を確約できること。

(2) 提出書類

- ①入学願書(本校指定のもの) 1通
- ②高等学校卒業見込証明書または高等学校卒業証明書 1通
(調査書に卒業見込であることが記載されている場合には、調査書をもって代えることができる。)
- ③高等学校長の推薦書(本校指定のもの) 1通
- ④調査書(学校長作成のもの・開封無効) 1通
- ⑤写真(出願前3か月以内に撮影したもの) 2葉
脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm
(注)裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。
- ⑥志願者調書(本校指定のもの) 1通
- ⑦受験票(氏名を記入しておくこと) 1通
- ⑧受験料2,600円(納入者より納付し、入学願書に納付済証を貼付する。)
- ⑨受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕
- ⑩試験結果通知用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕

(3) 提出方法

- (2)に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参又は郵送(簡易書留郵便)とすること。
- (注)受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。

(4) 願書受付期間 令和5年8月28日(月)から令和5年9月15日(金)まで(当日消印有効)

(5) 試験日 令和5年10月5日(木)

(6) 選考方法 作文及び面接試験により選考する。

受付	8:30～8:45
オリエンテーション	8:45～9:00
作文試験	9:00～9:50
面接試験	10:30～

(7) 合格発表 令和5年10月18日(水) 午後1時

本学校玄関前及び本校ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者及び推薦学校長に試験結果を通知する。
電話の問い合わせには応じない。

4 社会人入学 (3名程度)

(1) 入学資格

令和6年4月1日現在、社会人として2年以上の就業経験を有し、35歳以下で、学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条に規定する者。

(2) 提出書類

- ①入学願書(本校指定のもの) 1通
- ②高等学校卒業証明書 1通
- ③調査書(学校長作成のもの・開封無効) 1通
又は成績証明書若しくは単位修得証明書(高等学校卒業後5年を経過した者)
- ④写真(出願前3か月以内に撮影したもの) 2葉
脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm
(注)裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。
- ⑤志願者調書(本校指定のもの) 1通
- ⑥受験票(氏名を記入しておくこと) 1通
- ⑦受験料2,600円(納入者より納付し、入学願書に納付済証を貼付する。)
- ⑧受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕
- ⑨試験結果通知用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕

(3) 提出方法

- (2)に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参又は郵送(簡易書留郵便)とすること。
- (注)受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。

(4) 願書受付期間 令和5年8月28日(月)から令和5年9月15日(金)まで(当日消印有効)

(5) 試験日 令和5年10月5日(木)

(6) 選考方法 作文及び面接試験により選考する。

受付	8:30～8:45
オリエンテーション	8:45～9:00
作文試験	9:00～9:50
面接試験	10:30～

(7) 合格発表 令和5年10月18日(水) 午後1時

本学校玄関前及び本校ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に試験結果を通知する。
電話の問い合わせには応じない。

5 一般入学

- (1) 入学資格 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者。
- (2) 提出書類
- ①入学願書（本校指定のもの） 1通
 - ②入学資格を有する者であることを証明する書類 1通
〔例：高等学校卒業見込証明書（調査書に卒業見込であることが記載されている場合には、調査書をもって代えることができる。）、高等学校卒業証明書〕
 - ③調査書（学校長作成のもの・開封無効） 1通
又は成績証明書か単位修得証明書（高等学校卒業後5年を経過した者）
 - ④写真（出願前3か月以内に撮影したもの） 2葉
脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm
（注）裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。
 - ⑤志願者調書（本校指定のもの） 1通
 - ⑥受験票（氏名を記入しておくこと） 1通
 - ⑦受験料2,600円（納付書により納付し、入学願書に納付済証を貼付する。）
 - ⑧受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分（簡易書留料を含む。）を貼付しておくこと〕
 - ⑨試験結果通知用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分（簡易書留料を含む。）を貼付しておくこと〕
- (3) 提出方法
- (2)に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参又は郵送（簡易書留郵便）とすること。
（注）受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。
- (4) 願書受付期間 令和5年10月23日(月)から令和5年11月24日(金)まで（当日消印有効）
- (5) 試験日 令和5年12月14日(木)
- (6) 試験科目 学科試験 国語総合（古典を除く）、コミュニケーション英語Ⅰ、面接試験
- (7) 選考方法 学科試験及び面接試験の結果により選考する。

受付	9:00～ 9:15
オリエンテーション	9:15～ 9:30
学科試験（国語総合）	9:30～10:50
学科試験（コミュニケーション英語Ⅰ）	11:00～12:20
休憩	12:20～13:00
面接試験	13:00～

- (8) 合格発表 令和5年12月22日(金) 午後1時
本学校玄関前及び本校ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に試験結果を通知する。
電話の問い合わせには応じない。

6 再募集入学（一般入学者決定後に募集定員に達していない場合のみ実施）

- (1) 入学資格 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者。
- (2) 提出書類 一般入学に準じる。
- (3) 提出方法 一般入学に準じる。
- (4) 願書受付期間 令和5年12月25日(月)から令和6年1月12日(金)まで（当日消印有効）
- (5) 試験日 令和6年1月25日(木)
- (6) 試験科目 学科試験 国語総合（古典を除く）、コミュニケーション英語Ⅰ、面接試験
- (7) 選考方法 学科試験及び面接試験の結果により選考する。

受付	9:00～ 9:15
オリエンテーション	9:15～ 9:30
学科試験（国語総合）	9:30～10:50
学科試験（コミュニケーション英語Ⅰ）	11:00～12:20
休憩	12:20～13:00
面接試験	13:00～

- (8) 合格発表 令和6年2月2日(金) 午後1時
本学校玄関前及び本校ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者に試験結果を通知する。
電話の問い合わせには応じない。

7 入学試験会場 本校

8 入学試験結果の個人情報の開示

合格発表の日から1か月間、口頭により個人情報の開示請求ができる。

- ①請求できる者 受験者本人
- ②本人確認 受験票
- ③開示内容 科目別得点、総得点及び順位
- ④請求場所 本校事務室

9 入学式 令和6年4月上旬

◆参考事項

- 1 通学 全員通学（寮なし）
- 2 学費等

卒業年度	1年次	2年次	3年次
入学料	5,550円	—	—
授業料	262,800円	262,800円	262,800円
後援会料	20,000円	20,000円	20,000円
その他の (教科書、実習用具、被服等)	約230,000円	約120,000円	約110,000円
臨床実習グローブ・マスクは個人払い			

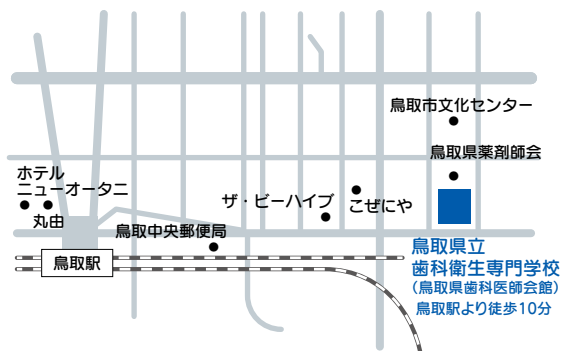
※但し、上記金額については変更の可能性がある。

3 その他

- 入学願書等の用紙について郵送希望者の場合は、QRコードで請求してください。その際に送料がかかります。
- 詳細については、本校へ問い合わせてください。



学校資料請求
QRコード



鳥取県立歯科衛生専門学校

〒680-0841 鳥取市吉方温泉3丁目751-5
TEL 0857-23-2621 FAX 0857-23-5584

E-mail : kenshi@ttrda.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/shikaeisei/>